

ふりがな 氏 名	おのづか みのる 小野塚 實	職 名	教授
取得学位	医学博士・理学博士	学会での受賞歴	日本組織細胞化学会論文賞(1990年12月) American Association for Dental Research William J Gies Award (2004年7月)
主な担当科目	生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習		
所属学会			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
◆講義内容の理解を深めるため、視覚情報を利用した授業を実施	2022年4月 ～現在	人体の構造と機能を3次的に捉えることにより理解し易くなる。この挑戦のため、講義ではパワーポイントによる視覚素材を多用するとともに、この視覚素材を用いたスライドを講義プリントとして配布した。プリントはパンチ2穴でまとめ、ファイル保存できるように配慮した。視覚素材の問題が増加傾向にある理学療法士・作業療法士の国家試験対策に活用してもらうのも目的の一つである。学生からは分かりやすいと好評であった。
◆生理学の内容を容易に理解できるように工夫した冊子「生理学纏め」(137頁版)を作成	2022年4月 ～現在	国家試験出題基準になっている生理学テキストは理解しにくい表現が多いことから、テキスト内容をカバーする独自のテキストを作成した。これは国家試験終了時まで使用できるので有用と考える。
◆国家試験対策の early exposure	2022年4月 ～現在	過去10年間に出题された生理学に関する国家試験問題を集積し、授業内容に適応した問題をピックアップして、学生に配布・解答を求めた。早期に国家試験を認識させ、そして、早期に問題を解くという習慣が何よりも重要と考え、実施している。
◆チーム基盤学習(TBL)方略の生理学Ⅱへの応用	2022年9月 ～現在	効果的に少人数グループ学習をさせることができる教育方略で、ディプロマポリシーにも符合し、かつ、学生が能動的に学習できたと感想を述べている。 チーム基盤型学習(team-based learning, TBL)には理論と経験に裏打ちされたさまざまな教育方略のエッセンスが集約されており、少人数グループ学習をさせる効率のよさと、教員主導により少人数グループ学習をさせる高い教育効果とを合わせもっている。TBLの有効性は、学習グループのメンバー間に強いまとまりと信頼が育まれる。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	該当なし				